

# 持続可能な開発目標(SDGs)について



平成29年1月30日

研究開発局環境エネルギー課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals)

## 【前身:ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)】

- 2001年に国連で策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。

15年間で国際的な環境も大きく変化し、新たな課題が浮上  
(環境問題や気候変動の深刻化、国内や国際間の格差拡大、民間企業やNGOの役割の拡大など)

## 【持続可能な開発目標 (SDGs)】

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。
- 先進国を含む国際社会全体の開発目標**として、2030年を期限とする包括的な17の目標を設定。
- 「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し(=人間の安全保障の理念を反映)、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組む。
- 全ての関係者(先進国、途上国、民間企業、NGO、有識者等)の役割を重視。



ロゴ:国連広報センター作成

(※SDGs推進本部第1回(平成28年5月20日開催)資料1より抜粋)

# 持続可能な開発目標（SDGs）の詳細

目標1（貧困）	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2（飢餓）	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3（保健）	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4（教育）	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5（ジェンダー）	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6（水・衛生）	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7（エネルギー）	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8（経済成長と雇用）	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。
目標9（インフラ、産業化、イノベーション）	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10（不平等）	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11（持続可能な都市）	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12（持続可能な生産と消費）	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13（気候変動）	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14（海洋資源）	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15（陸上資源）	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16（平和）	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17（実施手段）	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

（※SDGs推進本部第1回（平成28年5月20日開催）資料1より抜粋）

# 日本政府のSDGsに対する取組

## 【SDGsの議論や交渉への積極的貢献】

- 国際社会の議論が本格化する前から、対話の機会等を通じて積極的に貢献  
政策対話の主催(2011年～2013年)、国連総会でのサイドイベント開催(2013年には安倍総理と岸田大臣出席)等
- SDGsの交渉過程でも、人間の安全保障の理念の下で積極的に貢献。我が国の重視する開発課題を盛り込んだ(質の高いインフラ、保健、女性、教育、防災等)

## 【SDG推進本部の設置】

- SDGsが採択された国連サミット(2015年9月)において、安倍総理から、SDGsの実施に最大限取り組む旨を表明。
- G7伊勢志摩サミット(2016年5月)でもSDGsが議論。議長国としてSDGsに率先して取り組む姿勢を示すことが重要。
- 2016年5月に、総理を本部長、全閣僚を構成員とする**SDGs推進本部**を設置。同年12月に**SDGs実施指針**を策定。



SDGsを採択した国連サミットで演説する安倍総理(2015年9月)

# 持続可能な開発目標（SDGs）実施指針の概要

- ビジョン:「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」
- 実施原則:①普遍性、②包摂性、③参画型、④統合性、⑤透明性と説明責任
- フォローアップ:2019年までを目処に最初のフォローアップを実施。

## 【8つの優先課題と具体的施策】

### ①あらゆる人々の活躍の推進

■一億総活躍社会の実現 ■女性活躍の推進 ■子供の貧困対策 ■障害者の自立と社会参加支援 ■教育の充実

### ②健康・長寿の達成

■薬剤耐性対策 ■途上国の感染症対策や保健システム強化、公衆衛生危機への対応 ■アジアの高齢化への対応

### ③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション

■有望市場の創出 ■農山漁村の振興 ■生産性向上 ■科学技術イノベーション ■持続可能な都市

### ④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

■国土強靱化の推進・防災 ■水資源開発・水循環の取組 ■質の高いインフラ投資の推進

### ⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会

■省・再生可能エネルギーの導入・国際展開の推進  
■気候変動対策 ■循環型社会の構築

### ⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全

■環境汚染への対応 ■生物多様性の保全 ■持続可能な森林・海洋・陸上資源

### ⑦平和と安全・安心社会の実現

■組織犯罪・人身取引・児童虐待等の対策推進 ■平和構築・復興支援 ■法の支配の促進

### ⑧SDGs実施推進の体制と手段

■マルチステークホルダーパートナーシップ ■国際協力におけるSDGsの主流化 ■途上国のSDGs実施体制支援

(※SDGs推進本部第2回(平成28年12月22日開催)資料1)



# 優先課題について推進される具体的施策等

- 8つの優先課題について推進される具体的な施策等は、付表に記載している。文部科学省の環境エネルギー科学技術施策については以下の通り。

国内の施策			
(エネルギー)	施策概要	ターゲット	指標
エネルギー科学技術に関する研究開発の推進	エネルギー・環境イノベーション戦略(平成28年4月)等を踏まえ、再生可能エネルギーの導入加速、徹底した省エネルギーの実現に向け、関係省庁等とも連携して、研究開発を推進している。	7.2, 7.3	創・蓄・省エネルギー等に係る革新的な技術の研究開発を推進
国内の施策			
(気候変動対策)	施策概要	ターゲット	指標
環境科学技術に関する研究開発の推進	地球温暖化対策計画(平成28年5月)等を踏まえ、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)を通じて気候変動枠組条約(UNFCCC)の議論への貢献や、国内外の気候変動対策への社会実装につなげるため、気候変動の予測からそれがもたらすリスクに係る情報の創出までの研究に取り組むとともに、地球観測に関する政府間会合(GEO)の枠組を通じ、衛星や船舶等による地球観測データの活用を推進している。	13.1	気候変動メカニズムの解明、気候変動予測モデルの高度化、適応策策定に資する気候変動影響評価等に関する研究開発及び地球観測データの活用を推進
国外の施策			
(気候変動対策)	施策概要	ターゲット	指標
環境科学技術に関する研究開発の推進	地球温暖化対策計画(平成28年5月)等を踏まえ、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)を通じて気候変動枠組条約(UNFCCC)の議論への貢献や、国内外の気候変動対策への社会実装につなげるため、気候変動の予測からそれがもたらすリスクに係る情報の創出までの研究に取り組むとともに、地球観測に関する政府間会合(GEO)の枠組を通じ、衛星や船舶等による地球観測データの活用を推進している。	13.1	気候変動メカニズムの解明、気候変動予測モデルの高度化、適応策策定に資する気候変動影響評価等に関する研究開発及び地球観測データの活用を推進

- また、「6.フォローアップ・レビュー」においては、「我が国におけるSDGsの推進状況を的確に把握するために、今後2030年までの間、統計データや地球観測データを積極的に活用する。」との記載がされている。